

**教科横断型授業「家庭基礎」×「コミュニケーション英語Ⅰ」  
学習指導案**

SDGsでの課題	SDGsの番号(3番)「すべての人に健康と福祉を」
実社会での課題	2021年9月時点での日本の高齢化率は28.8%で、平均寿命と健康寿命には約9年の差がある。高齢者の健康と生活の質をどう維持していくか考えることは重要である。
生徒に身に付けさせたい資質・能力	高齢者の健康と福祉を充実させる献立を考えることで、介護食についての理解を深める。また、オリジナルな発想によるレシピを英語で表現し、発信できる力を身に付けさせる。
主題(教材)	「愛媛の特産品で介護食を考え、紹介しよう。」 新家庭基礎 今を学び未来を描き暮らしをつくる(教育図書) Revised POLESTAR English Communication I (数研出版)

学 習 活 動		時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等	
指 導 過 程	導 入	2	○ 積極的に授業に取り組む雰囲気を作る。	○生徒用端末 ○Teams	
	展 示	1 日本の高齢化の現状	3	○ 日本の現状から高齢者の健康と生活の質を維持する食生活を考えることの重要性を理解させる。	○プロジェクト ○生徒用端末 ○ロイロノート
		2 理想的な介護食とは (1) 食事摂取基準 (2) 食べる楽しみ	3	○ 食べることは生きる楽しみであり生活の質の向上に繋がっていることに気付かせる。	○栄養調整食品(実物)
		3 献立作成条件について (1) 調理方法 (2) 愛媛の特産品	4	○ 高齢期の身体的特徴と介護食の調理方法との関連性に気付かせる。	
		4 調理に関する英単語	5	○ 大きな声で発音させる。	
		5 献立作成	20	○ 愛媛県産品を使用したオリジナルな発想による献立を楽しみながら考えさせる。	
	開	6 発表	10	○ 介護食における調理の工夫を英語で発表させる。 ○ 祖父母に食べさせたいと思う介護食を投票させる。	○生徒用端末 ○ロイロノート
整 理	○ 本時の学習内容を振り返る。	3	○ 班員と協力してレシピを考え英語で表現し、発表できたかの自己評価をさせる。		

備 考	単元 (家庭基礎) 第3章 2 高齢化する日本を生きる、第4章 何をどれだけ食べる? (英語) Lesson 7 Ice Cream That Did Not Melt
-----	--